

【エクアドル経済：2017年7月】

1. 2017年第1四半期の経済成長率

1日付当地各紙は、アルトラ中銀総裁がエクアドルの2017年第1四半期の経済成長率が前年同期比で2.6%となった旨発表したと報じた。

(1)2017年の第1四半期は、家計消費及び輸出の増加により経済成長が促進された。2016年第1四半期と比較して2.6%増。ペロニカ・アルトラ中銀総裁は「エクアドル経済は確実な成長を遂げている。難局は通り過ぎた。」と述べ、2016年第4四半期に続き、プラス成長となった旨強調した。

(2)輸出で好調であったのは、バナナと漁業(エビを除く)で、2017年1月から発効した対EU通商協定により、バナナ輸出は8%増となった。また、天候が幸いし、マグロが豊漁であったこともポジティブに影響した。さらに、商業、銀行業、工業(石油精製)もプラス成長を遂げた(以下参照)。

2017年第1四半期

●プラス成長

原油精製	28.4%
電力	22.4%
漁業(エビ除く)	11.0%
金融サービス	5.7%
商業	5.7%

●マイナス成長

建設業	-7.3%
ホテル・飲食業	-2.1%
原油・鉱業	-1.0%
教育・保健	-0.5%
行政	-0.1%

2. アンデス開発公社(CAF)融資

4日、CAF理事会がボリビア・サンタクルスで開催され、デ・ラ・トーレ経済・財務大臣が出席した。同理事会はエクアドルに対し、1.5億ドルの融資を承認した。同融資はエクアドル政府の進める電力化マスター・プラン等の予算に充てられる。

3. 2017年上半期のエクアドル税関(SENAE)税収

4日、SENAEは、2017年上半期の税収が16億6400万ドル(前年同期比2.6億ドル増)であったと発表した。アンディノ税関長は、同税収には関税だけではなく、付加価値税(IVA)、セーフガード及び特別消費税(ICE)の徴収分も含まれると説明した。

4. 6月インフレ率

国家統計調査局(INEC)によれば、2017年6月のインフレ率は-0.58%であった。また、同月までの年間インフレ率は0.16%となった。

5. 「経済活性化のための国際協力議員グループ」の発足

7月27日、国会において「経済活性化のための国際協力議員グループ」(Frente Parlamentario De Cooperacion Internaional Para la Reactivacion Economica)と称するグループ(超党派グループ)の発足式が開催された。主な参加議員は以下のとおり。

- ① ホセ・セラノ議長(国家同盟(AP)。全国区。国会運営理事会(CAL)理事。)
- ② ダニエル・メンドサ議員(AP及びマナビ県地方政党 Unidad Primero。マナビ県。経済及び生産開発・中小企業委員会及び監査・政治コントロール委員会委員。本議員グループのリーダー)
- ③ マルセラ・オルギン議員(AP。ピチンチャ県。コミュニティ集団権利・多文化委員会副委員長。)
- ④ ルイス・フェルナンド・トーレス議員(キリスト教社会党(PSC)及びトウングラウラ県地方政党(Movimiento Tiempo de Cambio)。トウングラウア県。CAL理事。司法・国家構造委員会委員。)
- ⑤ パトリシオ・ドノソ議員(CREO-SUMA。ピチンチャ県。CAL理事。経済及び生産開発・中小企業委員会委員。)
- ⑥ アナ・ガラルサ議員(CREO-SUMA。トウングラウア県。保健アクセス権委員会委員。)

その他、マルティネス・エクアドル企業委員会(CEE)委員長、エンリケ・ポンセ・デ・レオン観光大臣等が出席した。セラノ国会議長は、「経済強化、ドル経済強化は、エクアドルの民主主義の安定性そのものであり、超党派の取組みが必要。」等と発言した。